

平成24年度みんなの審査会(新さかい)審査結果(概要)

事業番号	I-1	事業名	堺旧港観光市場			
所管	文化観光	局	観光	部	観光推進	課

【事業内容】

堺旧港観光市場の開催

総コスト(千円)	(平成23年度決算額)	24,303千円	(平成24年度予算額)	24,130千円
----------	-------------	----------	-------------	----------

【審査員・検討委員から頂いた審査シート記載内容】

【今後の方向性】

<審査員>						<検討委員(参考意見)>						
今後の方向性	事業の方向性	拡充	/		2	今後の方向性	事業の方向性	拡充	/	3		
		現状維持	/	5	4			1	現状維持	/		1
		縮小	/						縮小	/		
		廃止	2	/	/			/	廃止	1	/	/
			ゼロ	縮小	現状維持			拡大		ゼロ	縮小	現状維持
公金投入の方向性(人件費含む)						公金投入の方向性(人件費含む)						

【改善策について】(複数回答あり)

		審査員	検討委員
改善すべき点	事業の実施内容について見直しが必要(サービスそのもののあり方等)	10	2
	事業規模について見直しが必要(サービスの水準や対象者等)	4	1
	サービス受給者の自己負担について見直しが必要	1	1
	市以外からの財源の確保を図るべき	3	1
	担い手のあり方について見直しが必要	2	2
	その他	0	2
(「その他」の具体的記述) ・成果をはかる指標の見直しが必要。 ・まず、ある程度便益を定量化していただきたい。			

【具体的な改善策提案】

- ・実行委員会構成団体(会員企業)と、金も知恵も労力も出し合うという協働関係にすべき。イベントの内容について、「つくり方」を再検討し協働で「つくる」ようにする。
- ・「堺らしさ」の追求しつつ、港方向への「人の流れ」をどうつくるか検討すべき。
- ・実行委員会には、出店事業者だけでなく市民公募のメンバーも入れ、堺のにぎわい、魅力の創出を多くの視点から考え実行してはどうか。そのことにより、更に広く関心を持ってもらえると思う。
- ・指標の見直しが必要で、何が生まれたのかを見て行くべき(地域の人とのリレーションなど)。
- ・実施7年を経過している。継続するなら出店者から負担金が取れるように、売上がアップするように知恵を絞って欲しい。また、大浜のPRとなるような仕掛けを作っていただきたい。観光施策としての創意工夫が必要。
- ・定型的な“費用便益分析”である程度の定量的チェックが可能なので、一度検討をすべき。
- ・観光を考えて行くなら、学校等の絵画展等も考えていってはどうか。
- ・お祭りごとで終わっているような気がするので、観光を推進するならイベントの方法も考えるべき。
- ・民間主体で企画、運営をする事業へ。
- ・ヤングをターゲットにする。・コンセプトをはっきりする。
- ・観光案内して下さるボランティアの方の人数を増やして欲しい。
- ・広告に併せてスポンサー的な業者を公募してはどうか。
- ・魚市場の出店数を増やし集客率を上げる。その他のブースについても魅力あるブースを確保できるように努めて欲しい。
- ・市所有地の活用目的もあるならば他の機関(部署)との連携も必要。(産学等の連携も考えるべきである。)
- ・方向性が決まっていない感じがする。どこまでの活性化を目指すのか検討が必要と思う。
- ・堺漁港が実施している「とれとれ市」との共催など更に幅広い視点で運営すること。

平成24年度みんなの審査会(新さかい)審査結果(概要)

事業番号	I-1	事業名	堺旧港観光市場				
所管	文化観光	局	観光	部	観光推進	課	

【審査員・検討委員から頂いた審査シート記載内容】

【廃止の理由】(複数回答あり)	審査員	検討委員
行政で行う役割は終了している(事業開始当初の目的は既に達成されている)	0	0
時代の変化に伴う課題やニーズ(需要)を反映していない	1	0
事業の目的を達成するには、別の手段を考える方がよい	2	0
他の事業との結合・再編を検討すべき	2	0
サービス受給者の自助努力に任せるべき(税金を投入する必要はない)	1	1
効果がない(低い)	1	0
その他	0	0
(「その他」の具体的記述) ・個別目的に沿った事業・施策の検討が必要。目的の重複は当該事業・施策の有効性を判断することを困難とする。全局的見直しが必要。 ・ここを選んだのが間違いでこんな所でビジターが増える訳が無い。目的がよくわからない。金の使い方がおかしい。観光推進課でなくてもいい。何がしたいのか。進化していない。やり方が悪過ぎて話にならないので一度やめたらどうか。港は何処にでもあるし、むしろ汚いからマイナスイメージ。		
【その他意見等】(自由記入欄に記載された意見)		
・産業振興と観光、街づくりの要求が複合しているが、産業振興をベースに軸に考えるべき。(海運から陸運への日本の人と物の流れが明治以降変わったことが、港の衰退をもたらしたこと、これをどう考えるのか。) ・産業振興が軸であるから、参加企業、受益企業を担い手に意思形成過程(イベントの企画準備)に積極的に参加してもらい、資金も負担させても主体意識をもってもらおう。→受益企業が「自分の商売」と考えるようになって初めてリピーター確保の工夫や集客の工夫、堺らしさ等の工夫や知恵が出てくるはず。行政は足りないもの、どうしても出来ない事を補う補充的役割に徹すべき。 ・旧堺港の活用を含めて、当面は継続すべきである。また、堺漁港「とれとれ市」(毎土日開催)、大漁夜市(年一回)との関係も明確にすべきである。		